



代表取締役社長

糟谷 誠一

売上高は1兆円の大台を達成 持続的成長に向け事業基盤強化に注力

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2019年3月期は、おかげさまで、計画しておりました売上高1兆円の大台に乗せることができ、売上高、各段階利益ともに、過去最高を更新することができました。

2020年3月期は、当社最大規模となる物流センターを首都圏にて稼働させます。当社物流ノウハウにAI・ロボット等を活用した新物流モデルを取り入れ、人手不足に対応し得る人員生産性の高いセンターとなります。投資による一過性の初期費用の発生により、減益を予想しておりますが、中長期の視点による事業基盤強化を進めてまいります。今後も、生活必需品を取り扱う社会インフラ企業として、サプライチェーン全体の最適化・効率化に努め、持続的成長を果たしてまいります。

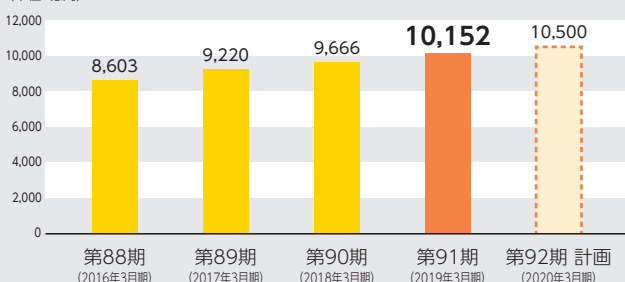
株主のみなさまにおかれましては、一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2019年3月期実績 及び 2020年3月期計画

売上高

1兆152億円 | 前期比：+5.0%

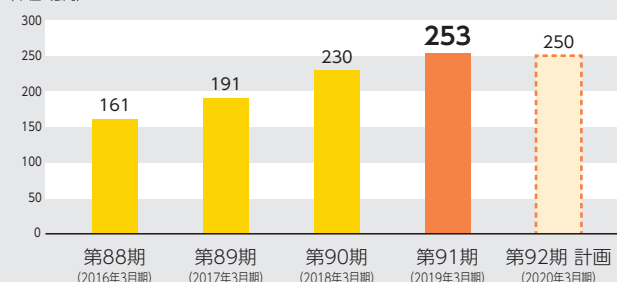
(単位：億円)



営業利益

253億円 | 前期比：+10.4%

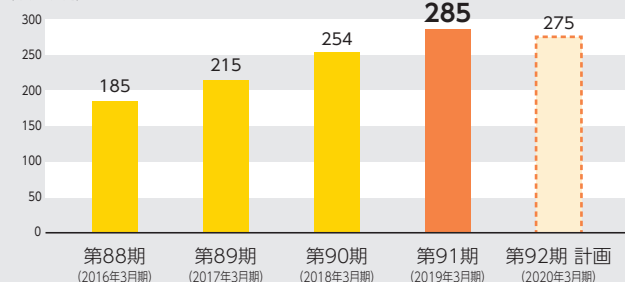
(単位：億円)



経常利益

285億円 | 前期比：+11.9%

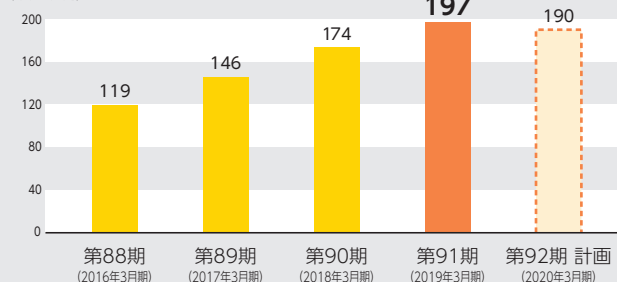
(単位：億円)



当期純利益

197億円 | 前期比：+13.3%

(単位：億円)



中期経営計画の戦略である「新物流モデルの確立」の進捗状況

新物流モデル第1弾としてRDC新潟を2018年8月に稼働



RDC新潟 (年間出荷金額:250億円)

特長

従来のセンターと比較して**人員生産性が2倍**

状況

直近では**従来比1.9倍を達成** (2019年3月平均)
稼働後8ヵ月で目標である2倍の達成が目前に迫る

●当社が培ってきた「既存の物流ノウハウ」とAI・ロボット等の「最新テクノロジー」を融合し効率化を追求したセンター

コンセプト

《労働人口減少による人手不足に対応》

生産性向上

同時に実現

働きやすさ

出荷形態

ピース出荷

ケース出荷

従来モデル



人が商品を棚へ取りに行く



人が重い商品を出荷する

・歩かない
・探さない

従業員に
優しい仕組み

重い商品を
持たない

新モデル



商品が人の手許へ流れてくる



機械が重い商品を出荷する

RDC埼玉
(2019年11月稼働予定)
(投資総額:230億円)

新物流モデルのノウハウを活用・発展
させた当社最大規模のセンターを建設

- RDC新潟で培った新物流モデルのノウハウを活用した物流センターを最大市場である首都圏で展開
- 生産性向上につながる、ロボット化・自動化をさらに推進



RDC埼玉 (年間出荷金額:1,200億円)

完成予想図

TOPICS: 将来に向けた取組み (人材 × 機械 = 持続的成長)

65歳定年制を導入

(2019年4月1日から)

定年年齢を従来の60歳から65歳に引き上げ、長く安心して働ける環境を整備し、世代を問わず多様な人材が活躍できる企業基盤を構築いたします。

物流センターの自動化を推進

(RightHand Robotics, Inc. [米国] との協業)

最新のピースピッキングの自動化システムを日本で初めて当社が新設するRDC埼玉へ導入を予定しております。



最新の自動化システム
「RightPick」

取締役・監査役のご紹介

取締役 10名 (うち社外取締役 3名)



代表取締役会長
兼 CEO

三木田 國夫



代表取締役社長
兼 COO

糟谷 誠一



取締役副社長執行役員
営業統括本部長

和田 治



取締役専務執行役員
物流・情報システム統括本部長

田代 雅彦



取締役専務執行役員
西日本営業本部長

野間 正裕



取締役専務執行役員
財務本部長

森谷 晃佳

新任



取締役専務執行役員
総務本部長

磯部 良平

新任



社外取締役

余郷 勝利

独立役員



社外取締役

松本 隆

独立役員



社外取締役

大石 歌織

独立役員

※取締役・監査役ともに、地位・担当は株主総会後の内定状況(2019年2月7日、4月26日開示)を反映して記載しております。

監査役 6名 (うち社外監査役 4名)



常勤監査役

金岡 幸宏

非改選



常勤監査役

新谷 尚志

新任



社外監査役

鈴木 秀夫

改選 独立役員



社外監査役

小寺 陽平

非改選 独立役員



社外監査役

亀井 浩

改選 独立役員



社外監査役

原 繭子

新任 独立役員

株主還元について

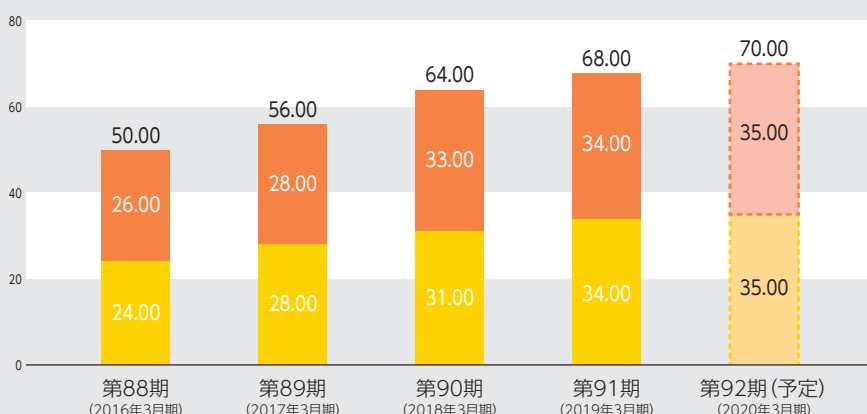
当期の配当金につきましては下記の基本方針に基づき、1株当たり年間配当金は前期に比べて4円増配し68円といたしました。また、次期の年間配当金につきましては1株当たり70円(2円増配)を予定しております。

<利益配分の基本方針>

- 安定した配当を継続
- 配当性向25%以上を目標
- 中長期的な業績拡大に応じて増配に努める

配当実績／配当予定

(単位:円) ■ 中間 ■ 期末

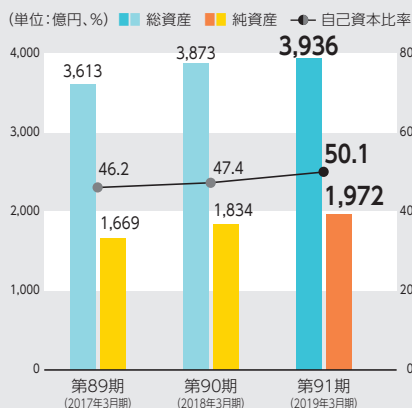


10期連続して増配(予定含む)

※連続増配は株式分割に伴う実質増配を含んでおります。

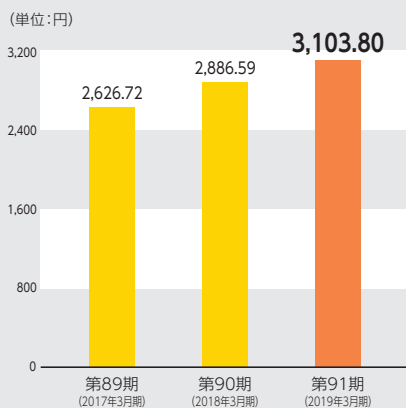
財務ハイライト

総資産／純資産／自己資本比率

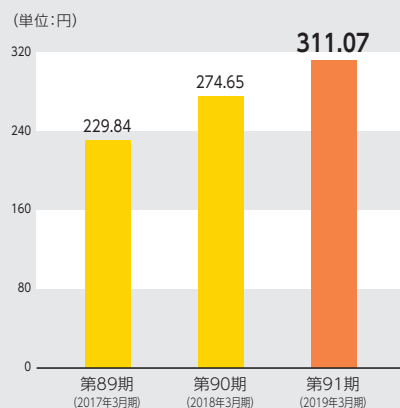


※「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」等を2019年3月期の期首から適用しており、前期末実績は当該会計基準等を反映した遡及適用・組替後の数値を記載しております。

1株当たり純資産額



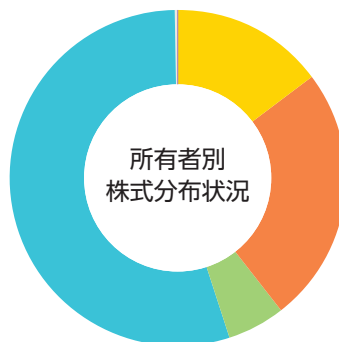
1株当たり当期純利益



株式の状況 (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数	180,000,000株
発行済株式の総数 ※自己株式含む	63,553,485株
株主数	3,505名

※自己株式6,237株



金融機関	9,362千株 (14.7%)
外国株主	15,792千株 (24.9%)
個人株主	3,473千株 (5.5%)
その他法人	34,770千株 (54.7%)
証券会社	148千株 (0.2%)
自己株式	6千株 (0.0%)

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領 株主確定日	3月31日、9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード8283)
単元株式数	100株
公告の方法	当社ホームページに掲載いたします (公告掲載URL) http://www.paltac.co.jp/ 但し、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載する

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金に関するお手続き、その他株式事務に関する一般的なご照会につきましては、株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。

単元未満株式について

単元未満株式(1株～99株)をお持ちの株主さまは、当社に対しその単元未満株式の買取を請求することができます。買取請求のお手続きの方法等につきましては、お取引のある口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。

ホームページのご案内



詳しい会社情報や
財務関連情報を
ご覧いただけます。



PALTAC IR 検索
<http://www.paltac.co.jp/>

社会インフラとして生活を支えつづけて120年



見直しに関する注意事項

この株主通信に記載されている当社の計画、見直し、戦略などは、日本経済の動向、業界の動向、市場の競争状況などの影響を受けます。そのため、実際の業績はこれら見直しと異なる可能性がありますことをご承知おください。



この冊子は環境にやさしい植物油インキを使用しています。